

とにしように言ひ出した。そこで翌日、罅の中に這入つて行つて、小羊を一匹盗み出して來ようとしたが、忽ち、番人と犬とに見付かつて殺されたと言ふ。

貝の運動

さいえの貝でも、其他の貝でもよい。貝の蓋を取つて、大きな井に酢を入れて、其中に浮かすと、貝はぐる／＼獨り手に回轉つて運動します。これは貝の石灰質が酸に溶解けるからです。貝とは違ひますが、樟腦の塊を水に浮かして、火を付けると、くる／＼水中を回りながら美しい青い火が燃えます。

動物の保護色

大抵の動物は敵から、よーいにつまらないよーに外界の色と同じよーな色をしていきます。これは自然か動物を保護する爲に出來て居るのですから、保護色といひます。草むらにすんで居る虫類が、多くは草と同じ色をして居るのも、其類です。又所によつては、時によつて、動物が色をかへて行きます。たとへば、北の方の國では、夏頃、普通の色の兎が、冬になつて雪が降る時分になると、雪とよく似た真白い色に變ります。然し黒鳩公の頭の毛が、滿洲の此冬の戦から、真白くなつたのは、鳩の保護色ではありませぬ。